

令和4年8月

大野市教育委員会定例会  
会議録

日 時：令和4年8月22日（月）午後3時30分～午後5時

場 所：大野市役所 2階 大会議室



大野市教育委員会 8月定例会 次第

令和4年8月22日（月）午後3時30分～

大野市役所 大会議室

1 開会

会議録署名人 馬道委員 松田委員

2 7月定例会の会議録の承認について

3 教育長重要事項報告

4 議事

議案第53号 大野市教育環境調査研究委員会委員の選任について

議案第54号 大野市3人っ子応援プロジェクトの取扱い等を定める要綱の一部改正について

議案第55号 大野市病児デイケア事業実施要綱等の一部改正について

5 付議事項

1) 令和4年7月大野市議会の報告について

資料1

2) 9月の行事予定について

資料2

・9月定例教育委員会 9月26日（月）午後3時30分～

大野市役所 大会議室

6 その他

1) 大野市立学校改修実施設計業務委託プロポーザルの選定結果について

資料3

2) 大野市立学校再編準備委員会の進捗について

資料4

3) 大野市文化財保存活用地域計画の文化庁認定について

資料5

4) 7月の業務報告について

資料6

5) その他

7 閉会

<出席者>

|          |              |       |
|----------|--------------|-------|
|          | 教育長          | 久保俊岳  |
|          | 委員（教育長職務代理者） | 馬道保   |
|          | 委員           | 松谷由美  |
|          | 委員           | 松田輝治  |
|          | 委員           | 羽生たまき |
| 事務局（説明者） | 事務局長         | 真田正幸  |
|          | 教育総務課長       | 指岡哲郎  |
|          | 学校教育審議監      | 千田佐   |
|          | こども支援課長      | 加藤智恵  |
|          | 生涯学習・文化財保護課長 | 佐々木伸治 |
| （書記）     | 教育総務課課長補佐    | 小林勝信  |

<傍聴者>

なし

## 【開会】

【教育長】ただいまから大野市教育委員会 8 月定例会を開会する。

## 【教育理念唱和】

## 【会議録署名人】

【教育長】本日の会議録署名人は、馬道委員、松田委員に願います。

## 【7 月定例会教育委員会会議録の承認について】

【教育長】事前にお送りした会議録案について、ご意見、ご質問等があれば願います。

——<意見・質問なし>——

【教育長】7 月定例会議録については事務局からの提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】事務局の提案どおり承認する。

## 【教育長重要事項報告】

【教育長】本日は「生涯学習」について申し上げる。個人的な話から入って大変恐縮だが、実は私は書道を始めて 4 年目になる。子どもの頃からずっと野球のバットを握ってきたが、退職を機に筆を握ってみることにした。教職時代は野球や卓球、バレーボール等のスポーツに関わりながらも、毛筆のきれいな人をずっとうらやましく思ってきた。

書道教室には一週間に一度通っている。先生は教職時代に担任をした子のお父さんである。その先生のもとで、毎週小中学生や高校生に交じって練習している。隣の高校生は書道歴 10 年である。惚れ惚れする字を書く。

先日まで、8 月末に開幕する市美展に向けた作品作りをしてきた。基礎力のない私は毎日悪戦苦闘の連続だった。100 枚近く書いたが、先生の手本からはほど遠く到底満足のものではできなかった。全部で 10 文字の漢詩だが、一文字ずつ切り取ってパズルのように貼り付けたい心境である。だが、これも今の自分の実力として納得することにした。

毎週一度の書道教室は、文字を書くこと以外にも良いことがある。練習をしている間は、普段の生活から解放されているように思える。無心で字を書く

ので、時間があっという間に過ぎる。調べてみると、正確ではないかも知れないが、それはマインドフルネスと言われる状態だそうで、普段の生活をリセットするためにとっても大切な時間だそうだ。

その教室には、小学生から一般の方まで幅広い世代の皆さんが通っている。皆、いわゆる学校の勉強とは違った学びを求めて集っている。そこで得た技術や人間関係は一生の宝である。正に生涯学習そのものである。

教育委員会は本年度、生涯学習推進計画をスタートさせた。名実ともに、すべての市民の皆さんが一人一人の興味関心に合った充実した生涯学習を進められるように支援していく重要性を改めて感じている。

### 【議事】

【教育長】議案第53号 大野市教育環境調査研究委員会委員の選任について、事務局の説明をお願いします。

——<教育総務課長説明>——

【教育長】議案第53号についてご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】議案第53号について、事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】議案第53号については、提案どおり承認する。

議案第54号 大野市3人っ子応援プロジェクトの取扱い等を定める要綱の一部改正について、事務局の説明をお願いします。

——<こども支援課長説明>——

【教育長】議案第54号についてご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】議案第54号について、事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】議案第54号については、提案どおり承認する。

議案第55号 大野市病児デイケア事業実施要綱等の一部改正について、事務局の説明をお願いします。

——<こども支援課長説明>——

【教育長】議案第55号についてご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】議案第55号について、事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】議案第55号については、提案どおり承認する。

### 【付議事項】

【教育長】付議事項1) 令和4年7月大野市議会の報告について、事務局の説明

をお願いします。

——<教育委員会事務局長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見なし>——

【教育長】令和4年7月大野市議会の報告については、以上とする。次に、付議事項2) 9月の行事予定について、事務局の説明をお願いします。

——<各課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見なし>——

【教育長】9月の行事予定については、以上とする。

### 【その他】

【教育長】その他1) 大野市立学校改修実施設計業務委託プロポーザルの選定結果について、事務局の説明をお願いします。

——<教育総務課長説明>——

【教育長】この件についてご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見なし>——

【教育長】大野市立学校改修実施設計業務委託プロポーザルの選定結果については、以上とする。次に、その他2) 大野市立学校再編準備委員会の進捗について、事務局の説明をお願いします。

——<教育総務課長説明>——

【教育長】この件についてご意見、ご質問等があればお願いします。

【松田委員】8月20日(土)に開催された「第2回全国高校生プレゼン甲子園」の決勝大会で、大野高校の生徒が非常に素晴らしい提案をされて優勝したことが新聞に掲載された。空き校舎の活用は、若い世代の意見も取り入れていくようなことも考えているのか。

【教育総務課長】空き校舎等の活用は、まずは基本的に地区の方でご検討いただきたいと申し上げている。地区からは、地区だけではなかなか解決できない問題もあるということで、市や教育委員会も一緒になって活用策を検討したい。検討する中で、高校生のアイデアなども参考にしたい。

【松田委員】学校が廃校になった時には、校舎を解体して、借地は原則として地権者に返すと聞いていた。活用策を検討する過程で、うやむやになっていくことも懸念されたので申し上げた。

【教育長】いろんな方面から、いろいろな検討が必要かなと思う。また、話し合っていくうちに、新しい課題も浮かび上がってきていて、それらも整理していかなければならないという状況である。

これから少しずつ協議し解決していくということになると思う。例えば、部会では有終西小学校の保護者の代表から、中学校区の見直しについて少々発言されている。この計画が出てきたから、少しずついろいろなことが見えてき

ているという状況で、これから他の課題が出てくることが想定される。

児童生徒や保護者の皆さん、地区の方々の意見を踏まえて、大野市の教育環境を整えていくという、これまでの流れは変わらないので、これからもしっかり耳を傾けながら進めていきたい。

委員の皆さんも、それぞれがいろんなご意見を耳にされると思うので、またこちらにお聞かせいただき、再編の取り組みに反映させていただけるとありがたいと考えている。

大野市立学校再編準備委員会の進捗については、以上とする。次に、その他3)大野市文化財保存活用地域計画の文化庁認定について、事務局の説明をお願いします。

——<生涯学習・文化財保護課長>——

【教育長】この件についてご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見なし>——

【教育長】その他4)7月の業務報告について、説明は省略するが、ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】7月の業務報告については、以上とする。次に、その他5)その他で、事務局から何かあるか。

【生涯学習・文化財保護課長】6月の定例教育委員会で松田委員からご質問のあった、社会教育関係団体についてお答えする。

生涯学習・文化財保護課が関わっている社会教育関係団体として、大野市壮年団体連絡協議会、大野市連合ふわわ女性の会、大野市子ども会育成連合会、大野男女共同参画ネットワーク、大野生活学校、大野市PTA連合会などがある。これらの団体については、会員の減少により、弱体化が懸念されるものや弱体化が進んでいる状況である。人口減少によるものと、人口減少や少子高齢化などによる社会の変化に伴う地縁的なつながりの希薄化が考えられる。地縁的なつながりの希薄化により、地域コミュニティの核となる、青年会、壮年会、以前は婦人会とよばれた女性の会が弱体化するなど、組織力が無くなってきている。

その具体的な理由として、「人口減少により、会員となる人がいない」ことのほか、「仕事で精一杯で、地域活動にまで参加する余力が無い」「会に入ること、町内や村のいろいろな行事に参加しないといけなくなり、自分の時間が減る」「活動に必要性を感じず、自分がやらなくても、誰かがやってくれば良いという意識の高まり」などが考えられる。

簡単に申し上げると「会に入らない方が楽」、「面倒」という考え方ではないかと思う。昭和の頃は、親に言われたり、近所や地区の先輩などから言われて、半ば強制的に入らされていたものが、平成に入る頃から、そうでなくなったりしてきていることも理由として考えられる。

このようなことから、大野市の社会教育関係団体においても、構成団体や会員数が減少し、以前のように活発な活動を実施できなくなっている団体が



ある。その中でも、大野市壮年団体連絡協議会と大野市連合ふわわ女性の会は各地区のそれぞれの団体の代表者で構成されていて、大野市全体としてさまざまな取り組みを実施してきたが、壮年団体は10年前は4地区で活動していたが、現在は下庄、上庄、小山の3地区となっている。ふわわ女性の会は、下庄、上庄、和泉の同じく3地区のみとなっている。

子ども会育成連合会についても、少子化の影響により、加入する子ども会の団体数は10年前までは、4地区111団体が加入していたが、現在は3地区90団体となり、今後も減少することが予想される。

会員の方々は、以前は、団結して取り組み、研修会やレクリエーションを通して、地域における社会教育の実践に大きな魅力を感じていたが、生涯学習の進展により、いろいろな機会にさまざまなツールで学ぶことができるようになり、余暇の過ごし方も複雑多様化してきて、活動自体に魅力を感じることができなくなってきた。

また、壮年団体やふわわ女性の会、子ども会は、各集落単位の会の意思や、各地区の団体の意思などが大きく、継続していただきたいとお願いはできるが、どの団体も熟慮した上での判断だと思われるので、それ以上は強くお願いできない状況である。

各公民館においては、壮年団体やふわわ女性の会の団体がある地区では、事務局として役員の方々と協議しながら、学習会や研修会など団体の事業全般に関係する業務を行っている。

生涯学習・文化財保護課としては、市全体をカバーするといった観点から、壮年団体連絡協議会や、連合ふわわ女性の会の活動に取り組んでいる状況である。今年度は、各団体の事業、例として申し上げますと、壮年団体では県大会への出席、市防災訓練への参加、会員のレクリエーション交流会やリーダー研修会の実施、市生涯学習フォーラムへの参加などがある。女性の会では、ソフトバレー大会やふわわフェスティバルの開催、広報紙の発行、市生涯学習フォーラムや県の大会への参加などがある。このような活動を通して、各団体の活性化や次の世代を担うリーダーの育成などを図っている。

また、昨年度、策定した「大野市生涯学習推進計画」では、基本目標を「優しく、賢く、たくましい大野人 いきいきわくわく学ぶ 結の故郷」と定め、それに向けた基本方針を「ひとづくり」【地域を担うひとづくりを推進します】としている。「ひとづくり」について、今年度は各公民館において地域課題解決に向けて、地域づくり講演会や、先進地視察研修、意見交換会、防災・防犯に関する講座などを予定している。

なかなか厳しい状況ではあるが、生涯学習・文化財保護課としては、各公民館と連携し、各団体の維持と活性化、次の世代を担うリーダーの育成を図っている。

【松田委員】今、課長が言われたように、いろいろと苦心されていることは理解している。私も、社会教育関係団体はもう曲がり角は過ぎていて、団体の役員をされてる方は、抜けるに抜けられないような方もいると思っている。

来月開催される社会教育委員の会で、生涯学習とか社会教育の計画や具体的な取り組みの検討もあると思うが、社会教育委員の会には各団体の代表者の方が参画されている。これから地域の繋がりが衰退し、地域の活力そのものがなくなっていくのは非常に寂しい気がするので、ぜひ、社会教育委員の会でも、元には戻らないと思うが、大野の活力を作っていけるような組織にするにはどうしたらいいかということを考えていただけないか。このままでは、組織がなくなってしまうようなことにもなりかねない。

行政の方からも、手を引くことや後ろから押すような動きも大事だと思う。仕事を持って人が自分たちで何もかもすることはなかなか難しい話だと思うので、公民館や行政が団体の役員や会員ができないことを、できるように支援することが非常に大切だと思う。市民も、そういった活動に無関心ではないので、できないことをできるように支援して、活動が活発になれば参加する人も増えるのではないかな。

やはり、地域活動は大事なことなので、今の環境に合った組織活動を、ぜひみんな考えていけたら、一緒に頑張れたらと思うのでよろしく願いしたい。

**【生涯学習・文化財保護課長】** 今度、社会教育委員の会を開催するので、各団体の状況等をお聞きして今後どのようなことができるかということについて協議したい。

**【こども支援課長】** 子育て支援情報は毎年作成し、保育園や認定こども園の保護者に渡している。また、出生や転入の手続きをされた方にも、この情報を使っている事業の説明などを行っている。

今年度は新たに、子育て相談のチラシを作成した。今、コロナで前よりも人との繋がりとかがそういうのが薄れてきていて、皆さんもあまり外へ出て行かない、相談もどこへ行っていいかわからないという声を聞いている。そこで、いろいろな悩み事やお困り事があったら、市の方へ連絡をしていただきたいという内容である。裏面は、児童虐待のない社会を目指し、虐待について今一度皆さんに考えて欲しいということに記載している。躰と思っている行為も、体罰虐待になりうるということも皆さんにおわかりいただけたらと思っている。こちらにも、こども支援課と児童相談所の虐待対応ダイヤルの電話番号なども載せている。

昨年度までは、子育て情報誌は最終ページに紹介を希望するこども園を掲載していた。

今年度からは、こども支援課の方で、市内の公立と民間の保育所や認定こども園の動画を撮影し、順次ホームページに載せて紹介することとした。現在は、公立保育園の動画ができ上がり、ユーチューブにアップロードしているので、委員の皆さんも一度ご覧いただきたいと思います。民間については、新年度の保育所の入所申し込みが始まるまでには、撮影を終え動画をアップロードしたいと考えているところである。

**【生涯学習・文化財保護課長】** 去る8月20日土曜日に、令和4年度大野市青少

年健全育成推進大会を令和元年度から3年ぶりに開催した。当日は、会場に約150名来場され、また、今年度はユーチューブでライブ配信をし、25名が視聴された。時間がかかり超過した部分や、会場の音響が少々聞き取りにくい部分があり、それらの課題はまた来年度に向けて修正したいと考えている。

当日は、青年の主張やパネルディスカッションを通して、子どもたちの声を、来場者やユーチューブの視聴者に届けることができ、3年ぶりにこの大会が大変有意義に開催されたものと考えている。

【教育委員会事務局長】教育委員会事務局から9月定例市議会に提出する予定の議案は、補正予算のみである。7月補正に引き続き、市長査定が終わったばかりのため、今回も口頭での説明となることをお許し願いたい。

教育総務課は、当初予算に計上されている5事業の補正予算を計上する予定である。

小学校施設維持補修経費では、原材料や施工費の上昇、或いは突発的な修繕が続き、年度内の予算が不足することが確実なため、修繕料を280万円増額計上するとともに、中学校施設維持補修経費でも同様の理由から修繕料を100万円増額計上する予定である。

次に、小学校給食運営経費では、こちらも材料費や施工費の上昇により年度内の予算が不足することが確実なため、修繕料を60万円増額計上する予定である。

次に、小学校高度情報化教育推進事業と、中学校高度情報化教育推進事業の2事業については、国の補助率3分の1の公立学校情報機器整備費補助金で対象となる業務が追加されたため、一般財源から国庫補助金に財源を一部組みかえるものである。

こども支援課は、新規に、保育所等整備事業補助を補正する予定で、誓念寺こども園と誓念寺中野こども園の非常通報装置設置に対して、国の補助率2分の1の保育所等整備交付金を活用して補助を行うため、74万2千円を計上する予定である。

生涯学習文化財保護課は、新規の1事業を計上予定である。

先ほど生涯学習・文化財保護課長からの報告のとおり、文化財保存活用地域計画が7月22日に文化庁の認定を受けた。

この計画を推進していくため、新たに、文化財保存活用地域計画推進事業として、文化財保存活用地域計画推進協議会の設置に係る報償費や需用費、計画本体や概要版の印刷にかかる経費について、216万4千円を計上する予定である。こちらには、国の定額補助金である、文化遺産総合活用推進事業補助金の100万円を活用していくこととしている。

これらの補正予算は、9月の定例教育委員会において、予算案の専決処分の承認ということで議案を提出する予定である。

【教育長】事務局からは、以上である。各委員からご意見、ご質問等があればお願いする。

【松谷委員】議案第53号の教育環境調査研究委員会の内容を、もう一度教えて

いただきたい。

二点目は、知人のお子さんがコロナに感染して、7月は3回しか給食を食べられなかったという話題が出たが、3回しか食べていないということは3日しか学校に行けていないということである。これは、自宅待機になって学校の授業はタブレットなどでフォローされているが、学校での子ども同士の交流ができない子がいるということが増えている中で、子どもたちの気持ちのフォローがどうなっているのか。そのお宅は3兄弟で、同じ子が3カ月の間に2回コロナに感染した。そうすると兄弟も保護者も自宅待機で学校に行けない状況になった。そういう子どもたちが増えていて、勉強はどうなのかとか、体育の授業とかも受けられないので子どもたちの体力のことなど、すごく心配されている。

例えば算数ではこの単元は子どもも、その子自体があまり理解してなくて心配していたが、それは学校で実際に授業を受けることができた。次の単元は割とわかっている単元で、自宅待機中でタブレットでの授業になっても割と理解できた。担任の先生からは安心してほしいと言われたが、それぞれの家庭によっていろいろ受け取り方も違うと思うし、いろいろな子どもがいるということ報告し、ご配慮をお願いしたい。

**【教育総務課長】** 教育環境調査研究委員会は、大野市における児童生徒の教育環境の向上に向け、児童生徒数の推移や、教育環境の現状、そして教育改革制度の動向などを調査研究することを目的にしている。

所掌事項は、児童生徒数の推移や教育環境の現状、教育制度改革の動向などの調査研究に関する事、児童生徒の教育環境の向上に関する事、その他教育環境の向上に関する事としており、これらの事項について調査研究し教育委員会に報告するとしている。

**【学校教育審議監】** 新型コロナウイルスへの対応は、現状としてオミクロン株で非常に感染者が多く出ている。夏季休業中にも、たくさん子どもたちが感染していて、学校が始まるとどうなるかと危惧している。

文部科学省からは8月19日付で、学校の感染に対する対応の改定が出された。基本は、学校教育活動の継続となっている。また、保健所が逼迫しているということで、例えば学級閉鎖や学年閉鎖等の学校の一部又は全部を臨時休業することができる対応を、設置者と学校、学校医等が相談して、期間を決めることとされているが、きめ細かな対応をすべきとされた。例えば、複数人感染したとしても人数で決めないとされたことでは、感染経路が学校でなくて各家庭から出てきて、それがたまたま学級で集中して人数が多い場合でも、しっかりと状況を見て学級閉鎖などの措置を判断すべきであるとされている。

今の状況で言えることは、人数だけで判断しないという部分はあるが、2学期になってからの対応を我々も今一番心配している。

先月のタブレット等の規程の改定にもあったとおり、このコロナ感染に関して学びを保障するためにタブレットを活用したオンラインでの授業を行いたいと考えている。

濃厚接触者は、家庭内感染の恐れがあるので濃厚接触者として捉えて、自宅待機の期間は基本的に5日間ということに変更はない。

学校では基本的な感染対策をしているが、マスクを外して運動した場合や近距離で会話をしたという場合には濃厚接触者になる。今の感染対策を十分に行えば、学校での濃厚接触者は出てこないとなっているので、できるだけ家庭等と連携をして、2学期の感染対策を取っていかなくてはならないと考えている。今度の教頭会や9月上旬の校長会でも感染対策の周知など、一緒に協議していきたいと考えている。

**【羽生委員】**再編準備委員会の進捗状況をお知らせしていただいた中で、これはいいなと思ったところがあった。

学校運営部会の中で、新中学校の生徒会組織は生徒間の話し合いを大切に、意見を取り入れるということが部会の中でまとまっている。

松木先生が、再編検討委員会での最後の言葉に、ぜひ子どもたちも自分ごととして、総合の学習などで学校の再編を受けとめて、頑張るって欲しいという言葉があった。それがずっと私の中にある。こういう形で大人が動くのではなくて、子どもが主体に動くことができる方向になっていること、すごくありがたいと思っている。

私も、「第2回全国高校生プレゼン甲子園」の決勝大会で、大野高校が優勝した新聞記事を読んだ。卒業した皆さんが、母校の、空き教室或いは廃校舎をどう活用するかということ、2年がかりで具体的にまとめてこのような結果で終えられた。この子たちの思いを何らかの形で、この再編の中でどこかに根付かせていただけたら、子どもたちが未来を考えるときにこれからの自信にもなると思う。

社会教育団体の弱体化という問題の中で、実は私も上庄のふふわの会の会員の1人である。課長からは、昔は強制的に入会させられていたと言われたが、強制的という覚えはなく当たり前の感覚の中で、自分は何の疑問もなく当時の婦人会に入会した。今は、ネット社会の中であって集って何かをすることや何かを得るとこと自体に、意識と価値が少なくなっていることを感じている。

集落単位の組織だったが、今では集落ごと脱退してしまっている状況なので、個人会員という位置付けで何とか頑張っているが、先ほどの説明にもあったとおり、次期のリーダーというところに目を向けてみても、会員は圧倒的に60代以上で50代40代と後に続く人が、どんな手を講じても集まらない。

ネット社会も含めてコロナ禍で、ちょっと停滞したっていうことも原因で拍車がかかっていると思うので、ぜひ社会教育委員の会の中で、実際に何が問題になっていて、どうあるべきかというのを見直していただけると、私も今後会員の1人として頑張ろうがあるかなと思う。先が見えないというよりも、先が見えすぎていると思ひ、何か会員としてどうしたらよいのかということ日々すごく自問自答しながら悩んでいる。

**【教育長】**ご自分の実体験や、子どもたちの声の拾い方など、そういう点からご意見をいただいた。今後、しっかり反映していかなければいけないと思う。

【馬道委員】 休日の部活動の地域移行は、本日の福井新聞の一面に出ていた。議会でも質問があり、また、再編準備委員会では、スクールバスの土日の運行はしないとなっていたので、大野市の休日の部活動の地域移行がどのくらい進んでいるのかを教えてください。

また、小学校連合体育大会のことで、今年は5、6年生が参加して午前中に行うと決まっているようだが、新型コロナウイルスが広がっている今、子どもたちが十分に練習できているのかどうか心配している。ふるさと芸能発表会が中止された理由の一つに、十分に練習できないのでということがあったが、連体もお盆明けから本格的に練習が始まっていると思っている。毎日60人近くの感染者があつて十分に練習できないとなると、実際に行われるかどうかとても心配になる。このままの影響が出て、特にリレーはメンバーが揃わないと練習ができない。新型コロナウイルスの感染者の人数が増えることや、練習状況から見て中止になることがあり得るのかなと心配している。

【学校教育審議監】 まず休日の部活動の地域移行は、大野市では、8月12日に軟式野球連盟とサッカー協会、ジュニアバスケットボールクラブと委託契約を結んで、本格的に実施していく状況になっている。今のところは、休日の部活動の地域移行ということで、土曜日か日曜日に実施することになる。

一つの学校の部活動が休日に地域移行するという考え方ではなく、サッカーを例にすると、今でもサッカー部自体が開成中にしかなく、そこ自体も人数も少なく、部活動として非常に成り立ちにくい状況になっている。そこで、他の中学校でサッカーをやりたい生徒をまずは募って、休日に地域で活動するという考え方で実施する。他の軟式野球にしても、バスケットボールにしても同じような考え方で実施する予定である。

中学校の再編に向けて、令和6年度になると学校数が減るが、今、休日だけでもやりたい、平日は違う部活動に入っているが休日はサッカーをやりたいと思っている生徒も集めていこうということで、各競技団体が計画して実施をしていく予定である。

部活動の地域移行と言っているが、地域移行した段階で学校の部活動とは違った形になる。活動の主体が各競技団体の方に移行するため、基本的にはクラブチームになる。課題として参加費の負担や自宅から会場への移動手段などがあるが、この活動は任意での参加になるため、保護者の負担が増えると考えている。

連合体育大会の練習は、お盆明け頃から始まっている。このような中で、例えば、連合体育大会の練習に来ていた子が感染したとなると、その時の状況などを、学校や学校医とも相談しながら対応していくことになる。

練習で集まった時も対策を取っていて、練習時は暑いのでマスクを外しているが、おしゃべりをしないことや間隔をあけるなど十分徹底している状況で練習しているので、感染が広がって練習を中止にした例は今のところない。

感染対策をしっかりと練習しているので、子どもたちも連合体育大会に向けて一生懸命練習しているし、教員も大会が実施できるように、感染対策を

十分講じながら練習していると聞いているので、教育活動の継続といったことも含めて、実施できるような方向で努力している。

【松田委員】学校の改修、実施設計の委託のことで、まず開成中学校の講評概要で一番最下段に気候風土への対応の消極さが懸念されたとあり、陽明中学校の方は、地元等設計者との連携に不安が残るという講評があるが、実際に実施設計に入る段階では、気候風土への対応や開成中学校への思いは非常に大切なことだが、余りにもそれにこだわるとうまくいかないこともある。

学びの里めいりんの冷暖房がうまく機能していない状況になっているが、設計当時は地下水を利用することが非常にいいアイデアだと思ったが、一抹の不安もあった。不安が的中し、機能しないということになった。選定された受託者にはこれまでの培ったノウハウを、奇抜なアイデアではなく本当に学校のためを思っただけの改修ができるように設計していただけたらと思う。

講評では、懸念されるとか不安が残るとあるが、素人目には懸念や不安が残るかもしれないが、経験のある業者が地元の業者と連携して大野に合った設計をしていただきたい。

行政の方もしっかり聞いて、軌道修正をしていければ、子どもたちのためのいい学校ができると思う。

【教育総務課長】ご意見のとおりだと思う。今後、改修に向けて実施設計を行っていくことになるが、今のご意見も十分伝えて、学校や教職員、受託業者とも連携をとって、よりよい学校の改修になるよう取り組んでいきたい。

【教育長】教職員を交えたワークショップも開かれる提案になっていたもので、しっかりと意見を聞いて進んでいくと考えている。貴重なご意見、ありがたく思う。次の定例会でも、いろいろなご意見や情報をお聞きしたいと考えている。

#### 【閉会】

【教育長】これをもって、大野市教育委員会 8 月定例会を閉会する。

午後 5 時 0 0 分終了

令和 4 年 9 月 2 6 日

---

(馬道委員)

---

(松田委員)